

東京国立 博物館 ニュース



特別展 & 特別企画 Information

- 「特別企画 奈良大和四寺のみほとけ」
- 「特別企画 文化財よ、永遠に」
- 「特別展 三国志」
- 「御即位記念特別展 正倉院の世界」……2
- 「博物館でアジアの旅」……4~5
- 「特集 やちむん — 沖縄のやきもの」
- 「特集 焼き締め茶陶の美 — 備前・信楽・伊賀・丹波 —」……6

総合文化展 Pick up !

- (本館 / 東洋館 / 平成館 / 法隆寺宝物館 / 黒田記念館) …… 7~11
- トーハクの調査研究③ …… 9 / みどりのライオン (教育普及事業) …… 12~13
- 「日本のよろい!」 …… 12 / トーハクくんのなるほートーハク …… 13
- イベント & インフォメーション …… 14~15 / 2019年8-9月の展示・催し物 …… 16

3ページに
掲載してるほ!



今号の名品「舍利容器」



日中文化交流協定締結40周年記念

特別展「三国志」

鮮やかな色彩で

生き生きと描かれた三国志の名場面

張飛は私利私欲をむさぼる郡の監察官・督郵を捕え、性根をただすべく鞭打ちに処しました。『三国志演義』の名場面に由来する本作は、もとは関帝廟の堂内を飾る壁画でした。関帝廟なので関羽だけを描くかといえばそうではなく、張飛が主役の場面もちゃっかり活写。それだけ『三国志演義』の物語性が人々に好まれていたのでしょう。(市元壘)



関帝廟壁画「張飛、督郵を鞭打つ」(部分)
土製、彩色 清時代・18世紀
内モンゴル自治区フホト市清水河県水門塔伏龍寺伝来 内蒙古博物院蔵
見れば見るほどに物語の世界へと引き込まれます。日本初公開です

観覧料：一般1,600円(1,300円)、大学生1,200円(900円)、高校生900円(600円) * ()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) /お問合せ：03-5777-8600 (ハローダイヤル) / 展覧会公式サイトhttps://sangokushi2019.exhibit.jp/

御即位記念特別展

「正倉院の世界

—皇室がまもり伝えた美—」

聖武天皇御愛用、ペルシア風の水差し

本展は、正倉院宝物を中心に、東京国立博物館が所蔵する法隆寺献納宝物などを合わせて展示し、古代の日本の国際色豊かな文化を紹介するものです。正倉院の漆胡瓶は、奈良時代に聖武天皇が愛用された漆塗りの水差しであり、鳥の頭の形をした蓋が特徴です。このような形の水差しはペルシア風と見なされて、胡瓶といいました。(猪熊兼樹)



漆胡瓶
唐または奈良時代・8世紀
正倉院宝物
展示期間：11月6日(水)～11月24日(日)
ペルシア風の水差しに黒漆を塗り、薄い銀板で草原の情景を表しています

関連イベント 事前申込制

- ① 記念講演会「正倉院をまもる」
日時：10月20日(日) 13:30～15:00 (13:00開場予定)
講師：西川明彦(宮内庁正倉院事務所長)
- ② 記念講演会「正倉院宝物研究の最前線」
日時：11月17日(日) 13:30～15:00 (13:00開場予定)
講師：猪熊兼樹(当館特別展室長)、三田覚之(当館工芸室研究員)
会場：平成館大講堂
定員：380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
聴講料：無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。講演会当日以前に使用済の半券でも可。その場合は別途、当日の入館料が必要)
申込方法：往復はがきでお申込みください。「往信用裏面」に、(1)希望する講演会の番号(①、②のいずれか)、(2)参加者全員(最大2名まで)の氏名・ふりがな、(3)代表者の郵便番号・住所、(4)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記までお申込みください。なお、申込は各回お1人(または1組)につき1通までです。
申込先：〒150-8551 東京都渋谷区渋谷1-3-9 ヒューリック渋谷一丁目ビル3F ユース・プランニングセンター内「御即位展」イベント①、②いずれか 係
申込締切：①9月2日(月) 必着 ②9月30日(月) 必着

観覧料：一般1,700円(1,500円/1,400円)、大学生1,100円(900円/800円)、高校生700円(500円/400円)
*()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) /お問合せ：03-5777-8600 (ハローダイヤル) / 展覧会公式サイトhttps://artexhibition.jp/shosoin-tokyo2019/

特別企画

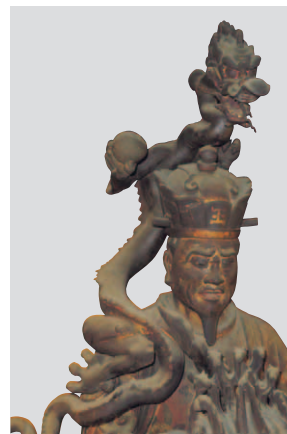
「奈良大和四寺のみほとけ」

迫力ある頭上の龍に注目!

長谷寺の本尊十一面観音菩薩立像は高さ10メートルを越す巨像ですが、その左脇侍が難陀龍王立像です。こちらは等身大ですが、高い位置に置かれているので、今回間近に拝することができるのは貴重な機会です。「王」と書かれた中国の民族宗教である、道教の神の冠をかぶり、鬚鬣を生やした壮年の男神の右肩から頭の上に龍が乗っています。この龍は蛇のような舌があります。注意してご覧ください。(浅見龍介)



足場を組み少しずつ慎重に下ろしました



難陀龍王立像(部分)
舞慶作 鎌倉時代・正和5年(1316)
奈良・長谷寺蔵
龍の爪は4本、右前肢には宝珠を握っています

住友財団修復助成30年記念

特別企画

「文化財よ、永遠に」

修理によってわかる文化財の新たな発見と価値

何百年も前につくられた文化財は、何度も修理されて、現在まで伝えられてきました。千葉県房総半島の九十九里平野からお出ましになる薬師如来立像も、地域の人の手で大切に守られてきた像です。一見すると、その体軀の特徴から平安時代前期の像かと思いますが、それにしては衣の襷などが浅く、制作年代については長く議論されてきました。

平成24年、表面の劣化などのために修理が行われました。それに伴う調査によって像内に承久元年(1219)の年紀と平常秀という人物名の書付のあることがわかり、本像は、平安時代の古像を模して鎌倉時代につくられたことが判明しました。修理は新しい発見をもたらし、それによって文化財のもつ価値がより明らかになることも多い営みなのです。(皿井舞)



薬師如来立像
鎌倉時代・承久元年(1219)
千葉・福寿寺薬王院蔵
一見すると、平安時代初期につくられたようなお像に見えますが、実は…

関連事業 事前申込制

シンポジウム「文化財よ、永遠に —文化財修理の最前線—」

日時：10月19日(土) 13:00～17:30 (12:30開場予定)
会場：平成館大講堂
定員：380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
聴講料：無料(ただし、当日の入館料が必要)
申込方法：往復はがきでお申込みください。
申込締切：9月2日(月) 必着
*講師および申込の詳細は、本誌4-5月号3ページ、もしくは当館ウェブサイトでご確認ください。

今号の名品

2019年8月-9月号

舍利容器

9月3日(火)~10月14日(月・祝)
東洋館3室

長安の都人があこがれた異国の音楽がここに

舍利とは古代インドのことで遺体や遺骨を意味し、仏教の場合、仏教を開いた釈迦の遺骨を指します。その舍利を納めるためにつくられたものが舍利容器です。

この舍利容器が出土したと伝えられるスバシは、中国の西北部に位置する新疆ウイグル自治区クチャにあった寺院遺跡です。

20世紀初め、浄土真宗本願寺の門主であった大谷光瑞が、仏教研究のための資料を収集する目的で中央アジアに探検隊を派遣しました。これがいわゆる「大谷探検隊」です。当館では大谷探検隊が現地でも収集してきたものを大谷探検隊将来品とよんでいます。

当時、クチャからは同種の舍利容器が7点発見されました。その内訳は大谷探検隊が2点、フランス隊が4点、ドイツ隊が1点です。その中でもこの舍利容器は最も精彩を放っているといえます。

この舍利容器の魅力は何といってもその表面に描かれた色鮮やかな絵画でしょう。蓋には楽器を演奏する天人、そしてオウムやキジに似た鳥を、そして身の側面には仮面舞踊や楽団をそれぞれ描いています。いずれも当時のクチャ地方の文化を強く反映しています。西域美術を代表する名品を、ぜひぐるりと360度回りながらご覧ください。(勝木言一郎)



天使のように鳥の翼をもった天人が箜篌というハープに似た楽器や豎笛を演奏しています。鳥の翼をもった天人はとても珍しいです。



妖精のように虫の翅をもった天人が五絃琵琶や四絃琵琶を演奏しています。虫の翅をもった天人は他に例がありません。また正倉院へと伝わった五絃琵琶の足跡をたどることができます。



舍利容器
中国・伝スバシ
大谷探検隊将来品
6~7世紀

実はこの舍利容器が発見された当時、黒色が一面に塗られ、蓋や身の縁には正方形の截金(きりかね)が貼られていました。当館が収蔵する前に当時の所蔵者がその上塗りを剥がしたところ、色鮮やかな絵が現れました。



仮面舞踊や楽団の絵は、当時、唐の都長安でもてはやされた龜茲(きしき)楽とよばれるクチャ地方の音楽を知る手がかりとなっています。

ぼくも
踊っちゃうほー♪

トーハクくん



どの場面も
楽しそうね♪



東京国立博物館
公式キャラクター
ユリノキちゃん



1本の矢に
込めた、
切なる願い

東洋館
13室

ナーイカを膝に乗せて
矢をつがえるナーヤカ

ピーカーネール派 インド 18世紀初
実は、男が狙った矢の先には雄鶏が
いるのです。雄鶏さえ鳴かなければ朝は
来ない、そうすれば2人はいつまでも
一緒にいられるという男女の想いが描
かれています

※インドではさまざまな愛を細密画の形
で表現してきました。今回の展示では、性的
表現を含む作品も一部ございます。予め
ご了承ください

博物館でアジアの旅

ラブ

LOVE

ラブ

アジア



絵画ではなく刺繍！
愛にあふれた
縁起物

東洋館
10室

かちょうずひょうぶ
花鳥図屏風

朝鮮 朝鮮時代・19世紀
小倉コレクション保存会寄贈
つがいの鳥と吉祥の植物を刺繍で表した
おめでたい意匠の屏風。新婚の高貴な
女性の部屋を飾ったものです

(部分)

博物館でアジアの旅 LOVE♡アジア

9月10日(火) → 10月14日(月)祝

今年の「博物館でアジアの旅」は、人間の根源的な感情である
「愛」がテーマ。愛を題材とした多彩な作品を通じて、
アジア各地の人々がいにしえより愛をどのようにとらえ、
表現してきたのかを探ります。さらに毎年恒例の研究員による
スペシャルツアーをはじめ、イベントも盛りだくさん！
この秋、東洋館でさまざまな愛のかたちを探してみませんか？

銘文が伝える、
永遠の絆

東洋館
5室

そうようもんまう
草葉文鏡

中国 前漢時代・前2世紀

銘文「見日之光長母相忘(日の光あらわる。長く相い忘ることなかれ)」
は、君主と臣下、あるいは男女の絆を詠んだもの。漢時代の人々の感性を
今に伝えます



おしどり
“鴛鴦夫婦”が
可愛い、
唐三彩の枕

東洋館
5室

さんさいいん か えんおうもんまくら
三彩印花鴛鴦文枕

中国 唐時代・8世紀 広田松繁氏寄贈

夫婦相合の象徴とされる鴛鴦が、子孫繁栄を意味する蓮花に乗った、たいへん
縁起のよい意匠が施されています



年を重ねても、
ずっと一緒

東洋館
9室

かちょうらでんごうす
花鳥螺鈿合子

中国 明時代・15世紀

2羽の白頭鳥を螺鈿で表した合子。頭が白い白頭鳥は
老夫婦に見立てられ、夫婦が
未永く暮らす意味があります

2人の想いを、
笛の音にのせて

東洋館
8室

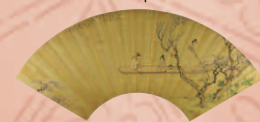
しゅんすいすいしゅう ず せんめん
春水吹簫図扇面

諸圻筆 中国 清時代・乾隆48年(1783)
林宗毅氏寄贈 ※展示は9月18日(水)～

うらかな春の川下りを楽しむ男女。南宋時代
の有名な詞人・姜夔が奏でる簫の音に、彼
に愛された小紅が歌をあわせています



(部分)



♥ 関連イベント ♥

※すべて参加無料(ただし当日の入館料が必要)、特記以外は事前申込不要です。
※各会場の受付・開場時間は予定です。

スペシャルツアー「愛を探る旅 一添乗員はトーハク研究員」

各日3人の研究員が「愛」をキーワードに約20分ずつ、計70分間の東洋館の旅へご案内します。

♥9月10日(火) 14:00~15:10

「工芸に表現された愛」

猪熊 兼樹(工芸史)
小野塚 拓造(中近東考古)
三笠 景子(東洋陶磁史)

♥10月8日(火) 14:00~15:10

「絵画に表現された愛」

勝木 言一郎(東洋美術史)
植松 瑞希(東洋絵画)
市元 壘(東洋考古)

受付場所：東洋館1階エントランス(受付開始は30分前)
※展示室をめぐるツアーです。歩きやすい靴でご参加ください。

インドネシアの伝統芸能「ジャワの影絵芝居 ワヤン・クリ」

事前申込制

ユネスコの無形文化遺産に登録されたインドネシアの影絵芝居を、「愛」をテーマに上演します。

♥9月20日(金)、21日(土) 各日とも

①13:00~14:00、②16:00~17:00

出演：スマイルル

演目：「ノロノノの結婚」(上演は日本語で行われます)

会場：表慶館1階(開場は各回30分前)

定員：各回100名(応募者多数の場合は抽選)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申込みください。

申込締切：8月19日(月) 必着

月例講演会「アジア美術に見える愛の表現」

♥9月28日(土) 13:30~15:00

講師：勝木 言一郎(東洋美術史)

会場：平成館大講堂(開場は30分前)

定員：380名

※詳細は12ページをご覧ください。

トーハクでヨガ体験 事前申込制

毎年大好評のヨガ、今年も行います！ トーハクの文化財に囲まれながら、体験してみませんか？

マットでリラックスヨガ in 表慶館

♥9月27日(金) ①11:00~11:30、②13:30~14:00、

③15:00~15:30

講師：渡辺 美保(ヨガインストラクター)

会場：表慶館1階(受付は各回15分前)

定員：各回20名(応募者多数の場合は抽選)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームでお申込みください。

申込締切：8月23日(金) 必着

※マットを使用したヨガとなりますので、動きやすい服装でご参加ください。

(ジーンズ、スカートはご遠慮ください)

※着替えができる部屋をご利用いただけます。

気軽に椅子ヨガ in 東洋館

♥10月4日(金) ①11:00~11:30、

②13:30~14:00、③15:00~15:30

講師：渡辺 美保(ヨガインストラクター)

会場：東洋館1室(受付は各回30分前)

定員：各回20名(応募者多数の場合は抽選)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームで

お申込みください。

申込締切：8月30日(金) 必着

※動きやすい服装でご参加ください。(ジーンズ、スカートはご遠慮ください)

※展示室内でのプログラムになりますので、着替えができる部屋のご用意は

ございません。

ボランティアによるガイドツアー

東洋館のハイライト、彫刻、考古などのガイドツアー「博物館でアジアの旅 特別バージョン」を実施します。詳細は本誌カレンダー(→16ページ)をご覧ください。

アジアン屋台

会期中、アジア料理を中心にしたケータリングカーが東洋館前に登場します。



2018年の様子



2018年の様子



2018年の様子



チベット密教では、
仏様だって愛し合う

東洋館
12室

チャクラサンヴァラ^{ふぼつりょうぞう}父母仏立像

中国・チベットまたはネパール 15~16世紀
服部七兵衛氏寄贈

抱き合う姿で表された夫婦の仏。密教では、
そこから数多の仏が生まれると考えられました

小さいけれど、
後ろ姿まで
ラブラブ

東洋館
3室

ぎんせいろうしよく 銀製装飾ピン

イランまたはイラク
パルティア時代
2~3世紀

夫婦でしょうか。まったり
と飲食を楽しむ、仲睦まじい
男女の姿が印象的です。葬送の宴の一幕とも
考えられます

(背面部分)

愛にまつわる
作品は他にも
たくさんあるよ



東洋館で
ラブを探そう！



これぞ、
孫文が掲げた
理想の愛

東洋館
8室

ぎょうよにじじくはくあい 行書二字軸「博愛」

孫文筆 中国 中華民国時代・20世紀
加藤文子氏寄贈 ※展示は9月18日(水)~

中国革命の指導者・孫文はこの言葉を好んでよく書きました。すべてのものを平等に愛し、差別のない社会を目指したのでしょ



美女と勇者の
カップル、
その運命やいかに

東洋館
13室

ワヤン・クリ アルジュノ ワヤン・クリ バヌワティ

アルジュノ：インドネシア中部ジャワ
20世紀 松本亮氏寄贈

バヌワティ：インドネシア中部ジャワ
20~21世紀 松本亮氏寄贈

インドネシアの影絵人形ワヤン・クリ。美女
バヌワティは、勇者アルジュノを慕いながら、
彼の宿敵の妻となります。その後、戦火の
なかでついに2人は結ばれますが…



南国の風土があらわれた、大らかな魅力

特集 やちむん

— 沖縄のやきもの

本館 14室
9月16日(月・祝)
まで

「やちむん」とは、沖縄ではやきものを意味する言葉です。当館には、沖縄県那覇市中心部に位置する壺屋で焼かれた色絵陶器を中心とする「やちむん」のコレクションが収蔵されています。その多くは明治18年(1885)に沖縄県から購入したのですが、長い歴史のなかでまともまつて展覧される機会はほとんどありませんでした。

このたび、展示に向けて修理・クリーニングを行うにあたり、あらためて調査を行ったところ、琉球王朝にもたらされた貴重な中国清朝の磁器や、国内の琉球陶器コレクションには類例のない珍しい作行きを備えた作品が含まれていることがわかりました。

本特集は、当館が収蔵する琉球資料の壺屋焼と清朝磁器をとりあげ、その魅力と収蔵の意義についてご紹介するものです。やちむんの魅力をたっぷりとお楽しみください。(三笠景子)

目にも映え、
泡盛が一層美味に

泡盛を入れた酒次でも
沖縄独特の作品名称にも
ご注目ください



カラカラ
いろえせんこくこうしもんすいぢゆう
(色絵線刻格子文水注)

沖縄本島 壺屋焼 第二尚氏時代・18世紀末~19世紀



ふた 蓋マカイ(五彩瓜蝶文蓋付碗・
ふんさいしかつるもんふたつぎわん
粉彩鹿鶴文蓋付碗)

中国・景德鎮窯 清時代・19世紀

光を透かすほど薄い、
白磁胎の碗

蓋天部と碗底部に、道光年製、咸豊年製の銘
が施された作品。清から琉球へ下賜されたも
のと推測されます



チューカー(色絵蟹文水注)

沖縄本島 壺屋焼
第二尚氏時代・18世紀末~19世紀

色鮮やかな
蟹の絵付けが涼を誘う
精製された白い胎と、不透明な濃い水色の
上絵具が印象的です

土肌を味わい、窯変を楽しむ

特集 焼き締め茶陶の美

— 備前・信楽・伊賀・丹波

本館 14室
9月18日(水)
12月8日(日)

焼き締めとは、釉薬を掛けずに高温で焼かれるやきもので、平安時代末以来、壺、甕、播鉢といった日用の器が各地の窯で量産されました。室町時代後期からは、備前や信楽でつくられたものが国内の陶器として初めて茶席に、茶の湯の器(茶陶)として取り入れられるようになります。はじめのうちは、本来茶陶としてつくられたものではない、いわゆる「見立ての器」が建水、水指、花入として取り上げられ、やがて茶陶としての創意性が加えられたさまざまな器が他の窯でも数多く作られました。

本特集では、備前、信楽、伊賀、丹波で焼かれた焼き締め茶陶をご紹介します。産地ごとの土色の違いや、器種・器形の多様性、窯の中で土と炎が生み出す変化に富んだ器肌など、個性豊かな作品をぜひお楽しみください。(横山梓)

備前 窯変がもたらす
豊富な景色に釘付け

胴部内外に掛かる自然釉が、
重厚な器に景色を
つくり出しています

一重口水指
備前
室町~安土桃山時代
16世紀



信楽 白色の粒が噴き出す
土肌が趣をそえる

もとは穀物の貯蔵用壺ですが、
茶席で花入に見立て
られました

躰花入
信楽
室町時代・15世紀



伊賀 淡く萌えるビードロ釉の
溜まりが見どころ

胴部を力強く押しつぶし、
歪ませた力強い
造形が特徴的です

耳付袋形水指
伊賀
江戸時代・17世紀



丹波 赤褐色の土に、淡い緑の妙

胴部の篋目や丸い裝飾など、茶席を意識した
創意が見てとれます

播座花入
丹波
江戸時代・17世紀



Pick up!

本館

生き様がそのまま表れた傑作

重文

一休和尚像

8月27日(火)～10月6日(日)

3室 禅と水墨画



◎一休和尚像 没倫紹等賛
室町時代・15世紀 岡崎正也氏寄贈
わしの前で禅を語る者はおるか!
一休の言葉を弟子が写しています

「一休さん」といえば、テレビアニメの愛らしいとんち小僧を思い浮かべる人も多いはず。でも実際の一休は、過激な言動で俗化した禅宗を激しく非難した、型破りな禅僧でした。

本作は、そんな一休晩年の姿を余すところなく描き尽くした肖像画の傑作です。ふてくされた仏頂面にボサボサの髪、伸び放題の無精ヒゲ、深く刻まれた皺、見る者を問いつめるかのような横目づかいの眼差し。正式な肖像画の下絵であったからこそその生々しさが、画面に横溢しています。日本文学者ドナルド・キーン氏をして、「完全に生きている」と言わしめた「リアル一休」に、ぜひ展示室でご対面ください。(高橋真作)

本館

礼拝の対象となる聖画を収めた箱

重文

花樹鳥獣蒔絵螺鈿聖龕

9月16日(月・祝)

12室 漆工

磔刑図を描く見事な油彩画ですが、ここではその絵を収める箱に注目です。漆塗りに蒔絵と螺鈿で楓や椿、鹿や梟を描いており、そのモチーフ自体は珍しいものではありませんが、密集する文様配置や、貝の輝きを強調する連続文様などは独特です。

何やら異質な感じがするのは、これが国内向けの製品ではなく、ヨーロッパ向けにつくられた品であるためでしょう。寝ぼけた鹿や、奇妙な梟の姿も魅力ですが、これを聖龕装飾としてヨーロッパの人々がどう考えたのか興味深いところです。聖画の作者は17世紀初頭のスペインの画家に比定され、この聖龕がつくられてまもなく描かれたと考えられています。(福島修)



◎花樹鳥獣蒔絵螺鈿聖龕
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
よく見ると計画とずれたのか、漆に埋まったままの貝もあります

本館

強力な霊力をもつアイヌの宝器

アイヌ鍬形

9月10日(火)～12月8日(日)

16室 アイヌと琉球



アイヌ鍬形
北海道アイヌ
北海道栗山町角田字桜山出土 19世紀
尾田勝吉氏・泉麟太郎氏寄贈
呪力が強すぎるがために、普段は地中に隠されていたアイヌの秘宝

兜の前面に取り付けられた飾りの鍬形を真似てつくられたアイヌの宝物のひとつです。アイヌ語では「ペラウシトミカムイ」(籠をもつ神様)や「キラウシトミカムイ」(角の生えた神様)とも呼ばれています。病気が災いを払う力があるとされていますが、家に置いておくと祟りがあるため、洞窟に隠したり、地中に埋めたりして保管されました。本例もまた開墾作業中に偶然発見されたものです。

アイヌ鍬形は、鉄地に真鍮や銀を用いた半球状の装飾を施すことが一般的です。この装飾は「シトキ」(首飾)や飾矢筒なども共通したものです。(品川欣也)

本館

知る人ぞ知る作家
だからこそ紹介したい

高秋露月

9月3日(火)～10月20日(日)

18室 近代の美術

高天に輝く満月と、雨上がり直後にあらわれたのか、無数のちぎれ雲がその姿を変えながら浮かんでいます。雲のダイナミックな動きの一瞬が見事に捉えられ、画面のなかに引き込まれるような幻想的な光景です。

長野草風は幕末の老中安藤信正の孫にあたり、再興日本美術院に参加して活躍した画家で、本作は大正15年(1926)の聖徳太子奉讃美術展に出品されたものです。

時代を違えても、日本の風土に暮らす人々は季節ごとの自然の景観に、心を重ね合わせてきました。この絵を見つめてもさまざまな想いがめぐることでしょう。草風の描いた秋の夜空を見上げたあなたはどんな心持ちになるのでしょうか。(松嶋雅人)



◎高秋露月
長野草風筆 大正15年(1926)
笹沼千代子氏寄贈
実際にその場で夜空を見上げて
いるように感じる作品です

東洋館

西アジアにおける緑釉の始まり

両把手付杯

9月8日(日)

3室 西アジア・エジプトの美術

この杯は、およそ2千年前、カエサルやアウグストゥスといった英雄が活躍していた頃に、ローマ帝国内で珍重された酒杯です。「お洒落なワイングラス」といったところでしようか。鑑賞ポイントは器の表面の鉛釉です。外側は深みのある緑色、内側は蜂蜜のような黄色に発色しています。この色合いは、当時貴重品だった銅の食器を模したものです。緑色は緑青を吹いた銅器の外側、黄色は磨かれて黄金色となった銅器の内面に重なります。側面は、ヘレニズム美術に見られるオリヴの文様で飾られています。この装飾を、アジアの東方へと波及した唐草文様と比べてみるのも一興でしょう。



両把手付杯
シリア 前1~後2世紀
銀や銅の同じデザインの杯に比べて、低コストで大量生産できる利点がありました

(小野塚拓造)

東洋館

高度な技術が生み出した美

石刃鏃

通年

4室 中国文明のはじまり



石刃鏃
中国内モン族自治区ホロンバイル地方出土 新石器時代・前7000年~前3000年頃 守田俊郎氏寄贈
無数の稜は人間が打ち割った痕跡です

石刃鏃とは、新石器時代前半(縄文時代早期に相当)、前7千年頃に中国東北部からロシア・沿海州、北海道一帯で使われた石製狩猟具です。先端が鋭く尖り、ゆるやかなカーブを描く流線形は、すべて人間の手による打ち割りによって作り出されました。じっと目を凝らして見ると、滑らかに見える縁の周囲を、ぐるりと細かな打ち割りの痕跡(稜)がめぐっていることがわかります。押圧剝離とよばれる高度な石器製作技術を用いて、見た目にも美しい形を作り上げた先史時代の技術の粋。ぜひ展示室でご覧ください。

(飯田茂雄)

東洋館

自慢したくなる名家の手による扇

行草書七言律詩扇面

9月16日(月・祝)

8室 中国の書跡



行草書七言律詩扇面
呉雲筆 中国 清時代・19世紀
林宗毅氏寄贈
呉雲の書は、唐時代の顔真卿の影響を受けています

清時代の文人たちは、風かおる季節を迎えると、さまざまな意匠を凝らした自家製の扇面を作成し、同好の士に分ち合いました。名家の手による扇面を持つことは、自らの社会的な地位の高さだけでなく、文化的な豊かさを誇示することでもあったのです。蘇州府の知事を務めたこともある文人の呉雲に、元の末から明の初めにかけて活躍した楊基の詩を、あでやかな金箋に揮毫してもらったこの扇面の所有者にとっては、自慢の一品だったに違いありません。楊基の詩や呉雲の書を愛でながら、尽きせぬ話題に花が咲いたことでしょう。

(富田淳)

東洋館

毛糸が織り成す細密な文様に注目

カシミヤ・シヨール 赤地
ヘイズリー花文様綴織縫い合わせ

9月3日(火)~11月24日(日)

13室 アジアの染織



カシミヤ・シヨール
赤地ヘイズリー花文様綴織縫い合わせ
インド・カシミール 19世紀
複雑な文様はさまざまな色に染めた毛糸による綴織です
※綴織とは緯糸だけで絵模様を表現する技法

カシミヤ・シヨールは、インド北部・カシミール地方に生育するカシミア山羊からとれた上質な毛糸を用い、綴織で細密な模様を表した毛織物です。インド・ムガル朝の王侯貴族が用いていましたが、イギリスなどへ輸出するようになると、ヨーロッパの上流階級で絶大な人気を博しました。あまりにもヨーロッパでの需要が高まったために、インドでは数多く生産するためにさまざまな工夫がなされました。複雑な文様を一枚のシヨールに織り上げるのは大変な労力が必要だったため、このカシミヤ・シヨールは、文様の部分を別々に織り、それを接ぎ合わせて一枚のシヨールにしています。

(小山弓弦葉)

Pick up!



◎金製方形板

奈良県橿原市川西町北ノ脇 古墳時代・5世紀
新沢千塚126号墳出土
精巧な透彫りが施され、見るものを魅了します

一辺約8センチメートルある金の薄板です。板の縁には歩揺ほよが付き、輝いています。被葬者の頭部付近から出土したこの金製方形板は、四隅にある孔で冠帽かんぼうにくくりつけ飾っていたと考えられます。日本列島に類例はなく、中国遼寧省付近に確認されることから、中国大陸から伝来したのでしょうか。このほか新沢千塚126号墳からは、朝鮮半島に由来する指輪や耳飾など各種装身具、遠くペルシアからシルクロードを経て伝来したガラス製品も出土しており、金製方形板とともに古墳時代における国際色の豊かさを示してくれます。

(河野正訓)

平成館

大陸から伝わった、黄金の輝き

重文 金製方形板

12月1日(日)

考古展示室

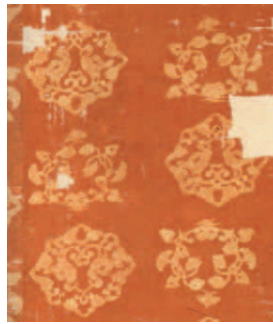
法隆寺宝物館

時代を超える愛らしさ

重文 鸚鵡文藤纈毯代

8月6日(火)〜9月1日(日)

第6室



◎鸚鵡文藤纈毯代 (部分)
奈良時代・8世紀
奈良時代の「カワイイ」文様の数物です

毯代とは「絨毯の代わり」、つまり敷物のことです。もとはイグサで編んだ筵むしろを芯にして、その表面を覆っていたものです。スタンプのような型を使い蠟ろうをつけてから染める藤纈とうせつという技法で、二種類の文様が表されています。唐草で囲った鳥の文様が「鸚鵡文」の由来ですが、その姿は水鳥のようで、少なくともオウムではないでしょう。もう一方には楕円形にまとめた唐草にチョウが配されています。

江戸時代の記録『御宝物図絵』には「孝謙帝御寄附」とあり、孝謙天皇(在位749〜758年。後に称徳天皇として重祚)由来の宝物と伝えられました。(三田寛之)

黒田記念館

ひたむきに励んだ勉学の賜物

椅子による女

9月29日(日)

黒田記念室



椅子による女
黒田清輝筆 明治22年(1889)
木炭によるデッサンの作品ですが、油彩画に劣らない逸品です

明治17年(1884)に渡仏した黒田清輝は、明治19年(1886)からアカデミックな美術教育を受けることになります。最初に西洋絵画の模写を勉強し、次に石膏デッサンを、そして裸体のデッサンを学びました。時には解剖学も勉強し、人体の基本的な構造と形を理解してから、ようやく着衣の人体デッサンに取り組みました。

明治22年(1889)の作品「椅子による女」では段階的に積み重ねた鍛錬の成果が表れていて、丁寧な陰影表現で着衣のモデルを生き生きと描いています。約3年におよぶ修業の充実感が垣間見える作品です。

(東京文化財研究所・野城今日子)

トーハクの調査研究 ③

蘇る！

少年が用いた鮮やかな仮面

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。

現在、東京国立博物館では文化財活用センターと共同で、法隆寺献納宝物の伎楽面を復元製作しています。

復元にあたっては、二次元測定をもとに製作した樹脂製の面を参考にして、原作の素材であるクスノキを彫刻し、当時の色を復元彩色しました。特に興味深いのは、面の大きさがかなり小さかったことです。「聖徳太子伝暦」に「伎楽の舞は少年に、演奏は青年に教えた」とあることからしても、実際に演じたのは10代前半くらいの少年だったのでしょう。完成した伎楽面は今秋開催する御即位記念特別展「正倉院の世界―皇室がまもり伝えた美―」で初公開します。原作からは想像できないほど鮮やかに蘇った伎楽面に乞うご期待です！ (三田寛之)

飛鳥時代と同じ製作方法を研究し、ワクワクしています



製作中の伎楽面
かまくら 迦楼羅



筆者による
彩色指定図

9月 展示案内

- 4
- 3-3
- 3-2
- 3-1
- 2
- 14
- 13-3
- 13-2
- 13-1
- 12

- 1-1: 日本美術のあけぼの一縄文・弥生・古墳
- 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
- 2: 国宝室
- 3-1: 仏教の美術—平安～室町
- 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
- 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
- 4: 茶の美術
- 5-6: 武士の装い—平安～江戸
- 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
- 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
- 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
- 9: 能と歌舞伎
- 10: 浮世絵と衣装—江戸
- 11: 彫刻
- 12: 漆工
- 13-1: 金工
- 13-2: 刀剣
- 13-3: 陶磁
- 14: 特集
- 15: 歴史の記録
- 16: アイヌと琉球
- (17: 保存と修理)
- 18: 近代の美術



8/27(火)-10/6(日)

3-2

雀の発心

室町時代～安土桃山時代・16世紀 美田悦子寄贈
子どもを蛇に食われた雀の小藤太が出家するという奇想天外な物語

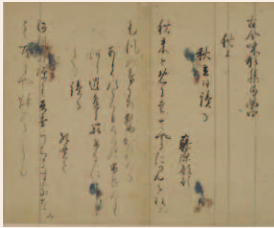


(部分)

古今和歌集 巻第四巻首 (筋切)

伝藤原佐理筆
平安時代・12世紀

「古今和歌集」より
立秋を詠う和歌。雲の
装飾と筋が入った
紙を使います



本館 2F: 1~10

-12/25(※)

1-1

子持高坏

長野県茅野市 泡盛神塚古墳出土
古墳時代・6世紀 五味健蔵氏寄贈



埴輪 猿

伝茨城県行方市 大日塚古墳出土
古墳時代・6世紀

子猿を背負う母猿の生き生きとした
表情が愛おしい埴輪



-8/25(日)

1-2

藍紙金光明最勝王經断簡

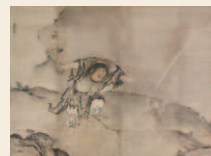
伝聖武天皇筆
奈良時代・8世紀

藍染の繊維を混合して漉いた
紙に、謹厳な書風で書かれた
奈良時代の写経



銅獅子鎮柄香炉

奈良時代・8世紀



-8/25(日)

3-3

蝦蟇鉄拐図

雪村周継筆
室町時代・16世紀
怪しさ漂う仙人の図。エキセ
ントリックな画風で知られる
雪村の作(蝦蟇図)



8/27(火)-10/6(日)

一休和尚像
没倫紹等賛
室町時代・15世紀 岡崎正也氏寄贈
(→7ページ)
(部分)

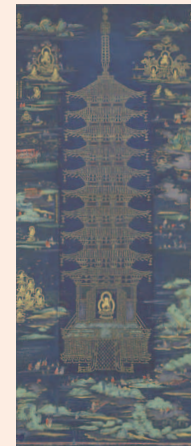
9/3(火)-9/29(日)

2

金光明最勝王經金字

宝塔曼荼羅図

平安時代・12世紀
岩手・大長壽院蔵



第一幀

8/6(火)-9/1(日)

六道絵

鎌倉時代・13世紀
滋賀・聖衆来迎寺蔵
六道での苦しみを美しい自
然景とともに描く、鎌倉時
代仏教説話画の大作です



阿修羅道



-9/1(日)

7

周茂叔・
林和靖図屏風

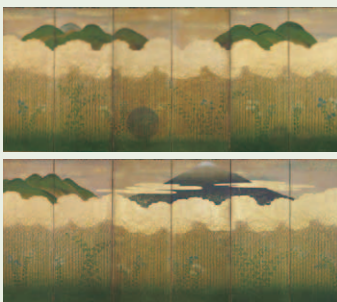
狩野探幽筆
江戸時代・17世紀
中国の著名な文人
をオムニバス風に
描いた屏風です

(部分)

9/3(火)-10/6(日)

武蔵野図屏風 筆者不詳 江戸時代・17世紀

数々の和歌に
詠まれた武蔵
野を、秋草や
富士山、月と
ともに美しく
描きます



-9/8(日)

4

南京赤絵蓮鷺文手桶形茶入

中国・景德鎮窯 鴻池家伝来
明～清時代・17世紀
広田松繁氏寄贈

9/10(火)-12/1(日)

織部扇形向付

美濃 江戸時代・17世紀
扇の形を筒向付にとりこんだ、
織部ならではの奇抜な意匠です



-8/25(日)

5-6

一の谷馬関兜

安土桃山～江戸時代・
16～17世紀



8/27(火)-11/17(日)

白糸威二枚胴具足

江戸時代・17世紀
徳川義寛氏寄贈
尾張徳川家初代・徳川義直所用
の具足で、銀箔押しと白糸
の威が端正な印象を与えます



-10/27(日)

8-1

鏤絵草花文大鉢

唐津
江戸時代・17世紀



草花時給菓子器

谷田忠兵衛作 江戸時代・18世紀
伊藤甲子之助氏寄贈

徳島藩主の御用を務めた名工の作。
密陀絵を交えた華やかな表現が魅力です



-8/25(日)

3-1

十王像(閻魔王)

室町時代・15世紀
地獄の裁判官といえる十
王。皆さんご存知の閻魔王
も十王のひとりです



8/27(火)-10/6(日)

武田信虎夫人像

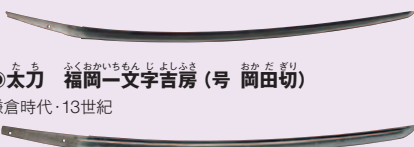
室町時代・16世紀
武田信廉筆 山梨・長禅寺蔵
武田信玄の弟・信廉(道遠軒)
の作。母の一周忌の供養像と
して描かれました

本館展

[8月]

-9/29日 13-2

●**太刀 三条宗近 (名物 三日月宗近)**
平安時代・10~12世紀 渡邊誠一郎氏寄贈
宗近は平安時代の京都の刀工で、この太刀は三日月状にみえる刃文から「三日月宗近」の名がつけられています



●**太刀 福岡一文字吉房 (号 岡田切)**
鎌倉時代・13世紀

-8/25日 10 浮世絵

●**恋の矢文**
鈴木春信筆
江戸時代・18世紀
源平合戦の那須与一「扇的」の場面を当世の若い男に置き換えています



8/27日-9/23日
●**百物語・さらやしき**
葛飾北斎筆
江戸時代・19世紀
井戸でお皿を敷えるお菊の霊。ユーモアと恐ろしさが同居しています



-9/8日 13-3

●**黒染茶碗**
道入作 江戸時代・17世紀
広田松繁氏寄贈
●**道入 (俗称ノコウ)**らしい光沢のある釉が目をひきます



9/10日-11/4日
●**瑠璃地染付蓮図水指**
伊万里 江戸時代・17世紀



-9/16日 14

●**蓋マカイ (五彩瓜蝶文蓋付碗・粉彩鹿鶴文蓋付碗)**
中国・景德鎮窯
清時代・19世紀
(→6ページ)

9/18日-12/8日
●**耳付花入**
伊賀 江戸時代・17世紀
三重県伊賀で作られた花入。激しい歪みを加えた形や、自然釉の景色を生かした豪放自在な作風が特徴的です




-8/25日 10 衣装

●**帷子 黒麻地水割紅葉文字模様**
江戸時代・18世紀

8/27日-10/20日
●**小袖 白綸子地大菊波模様**
江戸時代・18世紀
大きな菊を肩に、波を裾に配した大胆なデザインは江戸時代前期の特徴です




-8/18日 15

●**博物館魚譜 第1帖**
博物館局編集
栗本丹洲他筆
江戸~明治時代・19世紀

8/20日-10/20日
●**根府川通見取絵図 (熱海村部分)**
道中奉行所編 江戸時代・文化3年(1806) 浅草文庫旧蔵
熱海宿付近から伊豆山を経て三島に至る街道「根府川通」を描いた絵図です (熱海村部分)




本館 1F: 11~16, 18

特別企画 「奈良大和四寺のみほとけ」

-9/23日 11

●**十一面観音菩薩立像**
鎌倉時代・13世紀 奈良・長谷寺蔵
(→2ページ)

9/25日-12/8日
●**不動明王立像** 平安時代・11世紀
恐ろしい姿の不動明王。少し上品な顔なのは平安時代後期の特徴です



9/10日-10/27日 16

●**龍螺鈿盆** 沖縄本島
第二尚氏時代・18~19世紀
螺鈿によって、王家を象徴する双龍文が描かれています

9/10日-12/8日
●**アイヌ鍬形** 北海道アイヌ 19世紀
北海道栗山町角田字桜山出土
尾田勝吉氏・泉麟太郎氏寄贈
(→7ページ)




-9/16日 12

●**蓬萊山蒔絵袈裟箱**
法隆寺献納宝物 平安時代・12世紀
静謐で奥深い輝きは、希少な平安時代の蒔絵なればこそ



●**花樹鳥獸蒔絵螺鈿聖龕**
安土桃山~江戸時代・16~17世紀
(→7ページ)




-9/1日 18

●**長門峽** 松林桂月筆
昭和4年(1929) 松林桂月氏寄贈
ふるえるような墨線により、山口県萩の阿武川の名勝を描いています

9/3日-10/20日
●**高秋露月** 長野草風筆
大正15年(1926)
笹沼千代子氏寄贈
(→7ページ)

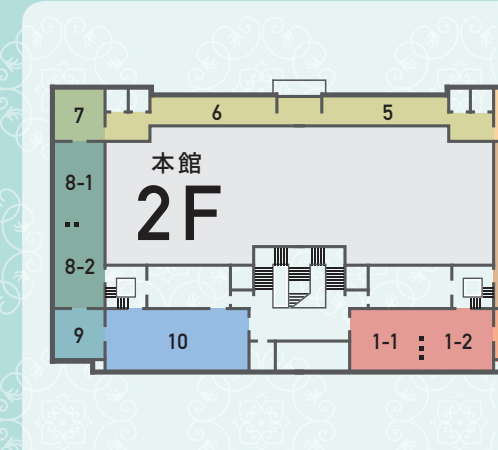



-9/16日 13-1

●**金銅八仏種子五鈿鈴**
平安時代・12世紀

9/18日-11/4日
●**木製彩色胡蝶舞図華鬘**
室町時代・16世紀
和歌山県丹生都比売神社伝来
華鬘は社寺の室内に掛けて空間を飾るもの。今年重要文化財になりました





-9/1日 8-2

●**林通亭写図屏風**
池大雅筆 江戸時代・18世紀 藤森まつ子氏寄贈

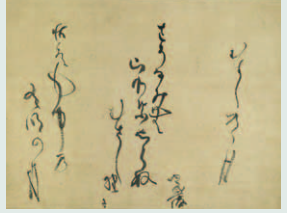
梅を愛し鶴と暮らしたという林和靖が自宅へ帰る姿を描いています。もとは襖絵でした



9/3日-10/6日

●**詠草**
鳥丸光広筆
江戸時代・17世紀

自詠の和歌「むさしの>月」を、即興的に散らし書きで揮毫したものです



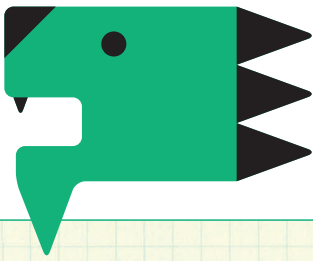
8/27日-10/20日 9

●**唐織 濃茶茶浅葱段秋草模様**
江戸時代・18世紀
上杉家伝来

●**狂言面 賢徳**
江戸時代・17世紀

紅色を控えた色調は「曲見」や「深井」といった能面をつける中年女性の役に用いられます



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び 講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

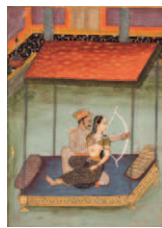
講演会

月例講演会「文殊菩薩と春日若宮の美術」

日時：8月24日(土) 13:30~15:00
講師：増田政史(絵画・彫刻室研究員)
鎌倉時代、奈良・春日大社の若宮の本来の姿は文殊菩薩とされていました。彫刻や絵画の作品を通じて、仏と神の関係を探ります。

月例講演会「アジア美術に見える愛の表現」

*関連展示：本誌4・5ページ
日時：9月28日(土) 13:30~15:00
講師：勝木言一郎(東洋室長)
地中海世界から東アジアに至るまで、愛をテーマとしたさまざまな作品を通して、古今東西の人々が愛をどのようにとらえ、そして表現しようとしたのかを探ります。



ナーイカを膝に乗せて矢をつがえるナーヤカ
ピーカーネール派 インド
18世紀初
9月10日(火)~
10月20日(日)まで
東洋館13室にて展示

- *会場は平成館大講堂、定員380名
- *聴講無料(ただし当日の入館料が必要)
- *開場は開始の30分前(予定)



ドキドキしちゃう



文武両道ってカッコいいほー!

ギャラリートーク

日本のよろい!

*関連展示：本ページ内
日時：8月6日(火) 14:00~14:30
本館特別2室
講師：酒井元樹(教育普及室主任研究員)
日本のよろい(甲冑)について解説します。理解が深まれば、作品を見るのもっと楽しくなるはずですよ。



紫裾濃威筋兜
江戸時代・18世紀 松平直亮氏寄贈
9月23日(月・祝)まで本館特別2室にて展示

アイヌの暮らし

*関連展示：本誌7ページ
日時：8月9日(金) 18:30~19:00 本館16室
講師：飯田茂雄(考古室研究員)
アイヌの人々は自然にある素材を巧みに使い、様々な衣服や道具を作りました。独特の模様で飾られた作品の魅力をご紹介します。

縄文土器の大きさ

日時：8月20日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室
講師：井出浩正(教育講座室長)
縄文時代の幕開けは、現代まで続くやきもの文化のはじまりでした。今回は1万年分の縄文土器の「大きさ」に注目します。

信玄の弟・武田道運軒とその作品

日時：9月3日(火) 14:00~14:30
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師：沖松健次郎(絵画・彫刻室長)
信玄の同母弟で、武田家中で重要な役回りを担った道運軒。武人としてだけでなく、画家としても才能を発揮した彼とその作品についてお話しします。

夏休みはトーハクでサムライ気分!

日本のよろい!

日本のよろい(甲冑)は、武士の身を守るもの。戦場での活躍をアピールするために、人目を引く美しさも求められました。よろいのデザインには武士の好みが多く表れています。複雑に見えるよろいの構造などを、わかりやすくご紹介します。

親子のギャラリー「日本のよろい!」

~9月23日(月・祝) 本館2階 特別2室

実物のよろいと、現代につくられたよろいの製作見本を展示し、その見どころや魅力をわかりやすくご紹介します。

おぼえておきたいキーワード①：小札

日本のよろいの基本的な部品。革や鉄でできた小さな板に穴をあけたもの。何千枚もの小札をひもでつなぎ合わせる。

おぼえておきたいキーワード②：威

小札の穴に緒(紐)を通してつなぎ合わせることで、「緒通し」から「威」になった。



金小札紅系中白威腹巻
安土桃山時代・16世紀
9月23日(月・祝)まで展示

日本文化体験「日本のよろい!」

~9月1日(日) 本館1階 特別4室

本館2階で親子のギャラリー「日本のよろい!」を見たあとは、1階の体験コーナーへ。よろいのパーツを触ったり、かぶとをかぶったりできる、体験型の展示です。武士がたくさん描かれた屏風のレプリカを見て、よろいがどんなふうに着られていたのかを想像してみてください。



「よろい着用体験」

よろいって、どうやって着るのでしょうか? 着てみると、よろいのことがもっとわかるかも。実際によろいを着て体感してみましょう!

日時：8月31日(土)までの金・土曜日および8月4日(日)
11:00~16:30 (受付10:50~16:00)
※8月4日(日)は子ども(18歳未満)のみ

会場：本館1階 特別4室

定員：各日22名

(1人につき1回1種類のみ。着用時間：約10分)

参加費：1,000円(高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要)

お問合せ：03-5777-8600 (ハローダイヤル)

※当日受付。事前申込はできません。

※定員に達した場合、16:00前でも受付を終了します。



Illustration：武者小路晶子

*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。

実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先にお電話でお問合せください。TEL：03-3822-1111 (代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

*📍は「ヒアリンググループ」対応、🗨️は「UDトーク」対応のイベントです。

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

子どもの勾玉作り・ファミリーで勾玉作り

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

- ①子どもの勾玉作り 日時：10月6日(日) 13:30~15:30
- ②ファミリーで勾玉作り 日時：11月10日(日) 13:30~15:30

会場：本館地下 みどりのライオン
(教育普及スペース)

対象：①小学3年生~中学生(保護者の見学可)
②小学3年生~中学生とその保護者

定員：①20名程度(応募者多数の場合は抽選)
②7組程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(①は2名まで、②は5名まで)の氏名・ふりがな、学年、(2)参加者の郵便番号・住所(①は参加者全員、②は代表者)、(3)代表者の電話番号、(4)①は見学希望の保護者の人数を、また「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切：①9月2日(月)必着 ②10月7日(月)必着
申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 ボランティア室

- ①「10月6日勾玉作り(子ども)」係、または
- ②「11月10日勾玉作り(ファミリー)」係

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) ボランティア室



博物館でお花見を「花見で一句」入選作品発表

「博物館でお花見を」(2019年3月12日~4月7日)の関連企画、東博句会「花見で一句」にて、俳句の募集をしました。開催期間中、館内の投句ポストに、一般の部446句、小学生以下の部49句のご応募をいただきました。ご投句いただきました皆様、ありがとうございました。

- | | | | | |
|---|---|--|---|---|
| 一般の部
館長賞
桜舞い
新緑出でて
令和へと
寺岡祥子 | 副館長賞
東博で
閉館後
仏もそっと
花見かな
田辺一男 | 桜賞
春ようよう
咲き満ちて
皿に溢るる
桜かな
黒木英昭 | 小学生以下の部
館長賞
東博の
桜の下で
お弁当
福井つるき | 副館長賞
さくら見て
東寺を見たら
京都気分
みれい
(敬称略) |
|---|---|--|---|---|



トーハクくんの なるほトーハク

東洋館の隠れた苦勞を教えるほ!



環境整備課
白澤利紀室長

トーハクには6つの展示施設があります。そのひとつの東洋館には、日本以外のアジア諸地域の美術工芸品・考古資料を展示しています。毎年開催している「博物館でアジアの旅」(P4・5)では、その年のテーマに合わせた展示をしています。そんな東洋館の見どころは展示だけではなく、トーハクくんが東洋館の知られざる見どころを環境整備課白澤室長に聞いてきました。

- お便りが届いたほ!** ふむふむ、「東洋館は大きい倉庫ですか?」ってガーン!!!
- やあ、トーハクくん! どうしたの?
- あ、白澤さん、東洋館のプロ!! こんなお便りがきてしまったほー(涙)
- えっ、ガーン!!! 東洋館は1968年に開館、2009年6月に耐震改修工事のため閉館、2013年1月に地震に強い建物に変わり、バリアフリーやすべての階に停まるエレベーターを増設してリニューアルオープンした展示施設だよ。
- さすがだほ! ほくのお気に入り、3階5室の「中国の青銅器」が入っているすごいケースだほ!
- これはドイツのガラスメーカー、「グラスパウハーン」という会社に頼んでつくってもらったんだ。
- そういえば、東洋館内部の壁はタイル張りなんだほ?
- いいところに目をつけてくれたね。これ語ると長くなるけど、いい?
- ……!!



ガラスが湾曲しているも青銅器の渦巻き模様までくっきり見えます

- では手短かに話すと、耐震改修工事の関係で壁のタイルを部分的に剥がしたんだけど、東洋館を設計した谷口吉郎さんの設計者意匠を継承するため、改修前と同じように壁の表面をタイル張りに仕上げる必要があったんだ。そのため、既存のタイルと色・形が合うように新しいタイルをつくる作業がとても大変だったんだよ。
- 売っているタイルではダメほ?
- 既存のタイルには独特な斑点模様とスジが入っていて、同じタイルを作る業者さんがなかなか見つからず、やっと見つけたのが焼き物のメッカ、岐阜県多治見市のタイル業者さんだったんだ。ちなみにタイルは何枚つくったと思う?
- う〜ん、1千枚!
- なんと、2万枚以上つくったんだよ。スジは全部手作業で入れて試行錯誤の結果、今張っているタイルに行きついたんだよ。
- このタイル、よく見ると同じ色がないように見えるほ!
- そうなんだ。今まで東洋館に張ってあったタイルは1枚1枚の色が若干違っていった。新しいタイルがすべて同じ色だと既存のタイルと新しいタイルとの境目がはっきりとわかってしまうため、若干異なる3種類の色を製作したんだよ。
- 建物ひとつにも職人さんたちの力が結集しているほ!
- 東洋館の外観はすっきりとしたモダニズム建築だけど、中に入ると絶妙なスキップフロアが織りなして展示室が繋がっているつくりになっているんだ。展示している作品とあわせて、見どころがたくさんある建物も見てもらったら嬉しいです。
- たくさんこだわりのあることがわかったほ。ほくは、東洋館3階のテラスでクッキーを食べながら、ほーっとするのも好きなんだほ!



オリジナルのタイル。同じようなスジをつけるためにホールキーなどを使用する「デコレーター」を使用しました



博物館で野外シネマ

毎年大好評のイベント、「博物館で野外シネマ」を今年も移動映画館キノ・イグラーとの共催で開催します。今年の上映作品は、この史代氏による原作を、片瀨須直監督が映画化した『この世界の片隅に』。当日は22:00まで開館時間を延長。また、キッチンカーではバラエティに富んだフードやクラフトビールをお楽しみいただけます。秋の夜長は、ぜひトークで。

日時:9月20日(金)・21日(土) 19:00～
上映作品:「この世界の片隅に」(2016)

【監督:片瀨須直、原作:この史代】
会場:本館前(雨天時は中止) 事前申込不要
料金:無料(ただし当日の入館料が必要)

※当日は特別夜間開館のため22:00まで開館(入館は開館の30分前まで)
※中止の場合は、当日朝10:00までに公式ツイッター [@TNM_PR] 等で告知
※総合文化展観覧券(入館料)はローソンチケットでも販売(Lコード:32431)



当日の様子 ※写真はイメージです



©この史代・双葉社/
「この世界の片隅に」製作委員会

Music Program TOKYO まちなかコンサート～芸術の秋、音楽さんぽ～

都内の文化施設と連携した新進演奏家によるコンサート「Music Program TOKYO まちなかコンサート」を今年も開催します!

日時:10月11日(金) 17:00～、18:00～(各回20分公演)

会場:本館大階段

出演者:副田 真之介(オーボエ) ※第13回東京音楽コンクール木管部門第2位及び聴衆賞
石井 希衣(フルート)、須東 裕益(クラリネット)、皆神 陽太(ファゴット)

料金:無料(ただし、当日の入館料が必要)

主催:東京都、東京文化会館、アートカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
お問合せ:東京文化会館事業係(TEL:03-3828-2111)

休館・閉室情報

展示環境改善のため以下の通り展示室の一部を閉室します。

東洋館3室:10月15日(火)～11月5日(火)
本館13室:11月5日(火)～2020年3月9日(月)
本館11～18室:12月9日(月)～2020年1月1日(水・祝)

8月4日(日)は、トータルキッズデー!!

ワークショップやコンサート、ギャラリートークなど、子どものためのイベントをたくさん実施する特別な1日です。託児サービス(要事前予約)、キッズコーナーもあるので小さなお子様連れでも安心してお越しください。トータルで夏休みの素敵な思い出を一緒に作りましょう!

対象:0歳～中学生とその保護者(小・中学生だけの参加可)

入館料:一般620円/大学生410円

※高校生以下は無料、特別展は別途料金が必要

※子どもと一緒に来館された方は100円割引

イベントの詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

東京国立博物館クラリネットコンサート

クラリネットだけの珍しい編成で名曲の数々をお届けします。

日時:8月31日(土) 16:00～、18:00～(各回40分公演)

会場:平成館大講堂

出演:東京クラリネット・クワイアー(演奏)、稲垣征夫(指揮)

曲目:月の光:C.ドビュッシー作曲/磯崎敦博編曲

小曲曲由:C.ドビュッシー作曲/磯崎敦博編曲

ワルツ「南国のぼら」:J.シュトラウスII作曲/稲垣征夫編曲 ほか

料金:無料(ただし当日の入館料が必要) *事前予約不要 先着350名

主催:東京国立博物館、東京クラリネット・クワイアー

協賛:東京国立博物館ミュージアムショップ

東京国立博物館賛助会

賛助会は博物館事業の充実のために幅広いご支援をいただくための制度です。

◎主な特典
特別展内覧会へのご招待 など

◎年会費

〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上

特別会員 100万円(1口)

維持会員 20万円(1口)

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎申込方法

当館窓口、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課賛助会担当

東京国立博物館賛助会員 2019年6月17日現在

団体

特別会員 日本電設工業株式会社 様 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社 様 一般財団法人 東京国立博物館協力会 様 株式会社 大林組 様 株式会社 ミロク情報サービス 様 読売新聞東京本社 様 大日本印刷株式会社 様 公益財団法人 東芝国際交流財団 様 サロン・ド・ソネット 様 朝日新聞社 様 株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様	凸版印刷株式会社 様 株式会社 東京書芸館 様 株式会社 毎日新聞社 様 三菱商事株式会社 様 株式会社 コア 様 株式会社 三美テックス 様 TABIZURU FOUNDATION 様 株式会社 みずほ銀行 様 日本ロレックス株式会社 様 キャン株式会社 様	維持会員 キョーマン株式会社 様 株式会社 前田酒店 様 学校法人 大勝学院学園 様 株式会社 サザンプランニング 様 謙慎書道会 様 株式会社 育仲社 様 株式会社 ユナミス 様 全日本空輸株式会社 様 アズビル株式会社 様	日本通運株式会社 美術品事業部 様 株式会社 インターネットインシアティブ 様 一般社団法人 書芸文化院 様 一般社団法人 学士会 様 株式会社 精養軒 様 株式会社 鶴屋吉信 様 有限会社 システム設計 様 株式会社 都市環境企画 様 公益財団法人 書道芸術院 様 株式会社 ロイスダール 様 エクソン・インターナショナル株式会社 様 株式会社 グラスハウバーン・ジャパン 様 株式会社 安井建築設計事務所 様	株式会社 ナガホリ 様 株式会社 小西美術工藝社 様 株式会社 資生堂 様 株式会社 清光社 様 セコム株式会社 様 株式会社 三冷社 様 株式会社 ニッセイコム 様 株式会社 オオカムラ 様 正筆会 様 はごろもフーズ株式会社 様 インフォコム株式会社 様 株式会社 モリサワ 様 株式会社 GIC ジャパン 様	有限会社 くんカンパニー 様 株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様 近代書道研究所 様 株式会社 目の眼 様 株式会社 東京美術 様 松本建設株式会社 様 有限会社 ギャラリー・竹柳堂 様 アミ開発有限会社 名古屋支店 様 日本畜産興業株式会社 様 光村図書出版株式会社 様 公益財団法人 アダチ伝統木版画技術保存財団 様
--	---	--	--	---	---

個人

プレミアム会員 岩間良孝 様 井茂圭河 様 高木千鶴子 様 黒田賢一 様 特別会員 永久幸範 様 辻泰二 様 佐久間美晴 様 井田悦郎 様 大山孝良 様 田中三孝 様 田中御津子 様 増山青男 様 島田仁 様 維持会員 伊藤匡人 様 数内匡一 様 岩沢重美 様 高田朝子 様 齋藤京子 様 齋藤邦裕 様 和田喜美子 様 藤原紀男 様 関合徳衛 様 高橋守 様 小澤洋一 様 玉野のり子 様 柳田里津 様 長谷川英樹 様 池田孝一 様	木谷 駿二郎 様 渡久地 ツル子 様 汐崎浩正 様 飯田 敬子 様 平井 千恵子 様 青山 道夫 様 小西 伸也 様 田中 望 様 坂詰 晋司 様 吉原 知良 様 古屋 光夫 様 根田 穂美子 様 松本 澄子 様 池嶋 洋次 様 増山 青男 様 島田 仁 様 伊佐 健二 様 軽部 由香 様 北川 洋子 様 木越 純 様 井上 保 様 田中 信 様 岡 靖子 様 古川 晴紀 様 新聞 日出夫 様 岩本 光雄 様 山本 隆幸 様 山上 知子 様 森本 晃生 様 土屋 和彦 様 角田 栄一 様 加納 繁一 様 林 和人 様 清水 透石 様 野本 陽代 様 佐藤 美蓉 様 青山 慶子 様 樋口 順一 様 吉永 幸子 様 竹原 鈴子 様 高山 真行 様 渡辺 雅也 様 鈴木 深泉 様 今村 正 様 福武 正廣 様 竹内 和世 様 岡野 昭信 様 伊藤 彰信 様 小林 浩和 様 加藤 正毅 様	田浦 宏己 様 山中 翠谷 様 荒木 幸 様 柳村 衛 様 樽澤 剛志 様 小日向 志乃 様 松前 達郎 様 佐藤 貴士 様 横田 隆義 様 新保 幸男 様 中野 俊介 様 清原 真里 様 角田 保行 様 三浦 基広 様 金光 真佐一 様 田辺 修一 様 水野 和良 様 竹内 明世 様 平田 恭之 様 武井 伸之 様 羽石 史生 様 長瀬 正行 様 前田 寿子 様 笠原 勉 様 黒川 英俊 様 廣瀬 敏章 様 田北 俊也 様 高見 康雄 様 岩本 みち子 様 堀川 佳津美 様 瀧本 篤 様 秋元 幸雄 様	蔵口 真理 様 宮下 雅博 様 神田 雅彦 様 高橋 薫 様 清田 志郎 様 中村 光宏 様 菅野 良子 様 中島 米治郎 様 田中 久丸 様 前田 晴子 様 森本 晃生 様 清原 真里 様 角田 保行 様 三浦 基広 様 金光 真佐一 様 田辺 修一 様 水野 和良 様 竹内 明世 様 平田 恭之 様 武井 伸之 様 羽石 史生 様 長瀬 正行 様 前田 寿子 様 笠原 勉 様 黒川 英俊 様 廣瀬 敏章 様 田北 俊也 様 高見 康雄 様 岩本 みち子 様 堀川 佳津美 様 瀧本 篤 様 秋元 幸雄 様	中山 安弘 様 鈴木 健之 様 木村 則子 様 水田 涉子 様 吉原 剛一 様 本吉 丈夫 様 重田 綾子 様 五嶋 滋之 様 笹川 統 様 若佐 忠子 様 向山 裕子 様 田中 真知子 様 高田 明美 様 根岸 順 様 小野 透 様 竹中 洋介 様 脇 泰一郎 様 本條 隆一 様 福井 一夫 様 山田 勝司 様 石田 英二 様 長井 真理 様 島谷 桂子 様 森本 文子 様 青木 勝重 様 古家 惣一郎 様 安諾 茉莉子 様 関守利 様 梓澤 昂広 様 山崎 益三 様 櫻井 めぐみ 様	菊池 伸彦 様 牧野 友樹 様 藤本 久子 様 青木 香織 様 染谷 克人 様 伊藤 翔司 様 平野 智幸 様 田中 久仁恵 様 飯浜 修 様 椎名 功 様 大内 裕子 様 小澤田 真弓 様 米山 真満 様 堀内 洋志 様 廣中 雅子 様 秋田 光祥 様 平野 弘子 様 中島 瑞穂 様 堀崎 豊 様 茅野 俊秋 様 前田 祥吾 様 佐野 謙三 様 大久保 慎一 様 金子 勝廣 様 石井 利行 様 古家 惣一郎 様 安諾 茉莉子 様 関守利 様 梓澤 昂広 様 山崎 益三 様 櫻井 めぐみ 様	山脇 啓啓 様 長谷部 理恵 様 中村 俊之 様 柴田 博志 様 阿部 隆之 様 宮崎 文子 様 麻生 正信 様 高橋 康之 様 山崎 進 様 小川 節子 様 新賀 浩一 様 神田 裕子 様 藤谷 康男 様 山崎 幸子 様 森山 節子 様 松浦 芳春 様 大西 史子 様 渡原 史詠 様 菅原 智子 様 本澤 昌宏 様 青木 駿 様 荒木 茉莉花 様 加治 啓子 様 大島 千秋 様 猿橋 正樹 様 小林 辰子 様 大浦 喜成 様 佐藤 宣雄 様 菊地 明子 様 西村 修一 様	杉本 孝夫 様 秋葉 桂子 様 近藤 真利加 様 神長 克一 様 数本 泰子 様 於保 浩志 様 西村 卯 様 柴田 和久 様 前田 博 様 前田 陽子 様 富士原 芽 様 長瀬 俊泰 様 福田 美知子 様 菅原 峻司 様 藤原 昂平 様 吉澤 映人 様 三木 正夫 様 青木 裕子 様 小森 義記 様 内中 慶一 様 河内 人 様 丸木 理江 様 佐藤 真希 様 鈴木 幸弘 様 藤村 由貴子 様 石井 千明 様 大島 千秋 様 西倉 美奈 様 安藤 幸 様 横山 峻 様 杉山 桃子 様 新井 公之 様 ほかに187名、1社、順不同
--	---	--	---	--	--	--	--



国際交流

5月下旬、中国・上海博物館にて「十五世紀中間期景德鎮磁器大展」が開幕しました。この展覧会は、中国国内外の28機関から作品を集めた大規模なもので、トーハクもこの展覧会に収蔵品を出品しました。上海博物館とは、1993年に当館で「上海博物館展」を開催して以来、さまざまな分野で交流を深めてきました。近年、世界において日本美術への関心が高まり、海外の博物館・美術館より展覧会への協力要請も増えてきています。トーハクは、文化財を通じた国際交流を推進するとともに、海外館との協力関係の構築や人的交流を促すことにより、各国との相互理解の促進に努めています。



上海博覧開会式の様子

(国際交流室長・楊鋭)

特別展「正倉院の世界」チケットプレゼント

御即位記念特別展「正倉院の世界－皇室がまもり伝えた美－」(2019年10月14日〈月・祝〉～11月24日〈日〉→2ページ)無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締切は10月10日(木)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

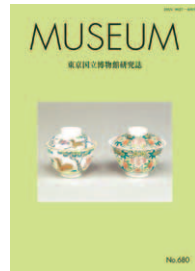
東京国立博物館 広報室「ニュース8・9月号」プレゼント係



「MUSEUM」680号(2019年6月15日発行)の掲載論文

- ①「MOA美術館蔵「清水寺遊楽図屏風」に関する一考察」
館野まりみ(早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程)
- ②「〔研究ノート〕兵庫・綱敷天満宮の伎楽面」
岩田茂樹(奈良国立博物館上席研究員)
- ③「〔調査報告〕文化財の海上輸送中に生じる振動レベルの評価」
和田浩(東京国立博物館環境保存室長)
- ④「〔作品紹介〕蓋マカイ」
三笠景子(東京国立博物館特別展室主任研究員)

お問合せ: 当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)
定価: 1,543円(税込)



TNM & TOPPANミュージアムシアター

■VR作品「VR刀剣」
7月3日(水)～10月6日(日)

刀剣は長きにわたり大切に守られてきた文化財です。千年に及ぶ歴史の中で形作られた刀剣の技と美しさは、現在も伝承され続けています。本作品では、東京国立博物館が所蔵するよりすぐりの名品の中から、際立った特徴を持つ国宝「三日月宗近」「岡田切吉房」の二口を比較しながら解説します。少し専門的かもしれませんが、他では得ることの出来ない、ミュージアムシアターだけのとっておきの刀剣鑑賞をご堪能いただけます。

料金: 一般・大学生・高校生500円、小学生・中学生300円、未就学児、障がい者とその介護者1名は無料(1作品/1回あたり)

- *総合文化展とセット購入で一般: 1,000円/大学生800円
- *所要時間は約35分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- *演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- *詳細はウェブサイト(<http://www.toppa-vr.jp/mt/>)をご覧ください。



東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 金・土曜日は21:00まで
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで
- 9月20日(金)・21日(土)は22:00まで
- 11月3日(日・祝)・4日(月・休)は21:00まで

休館日:

月曜日(祝・休日に当たる場合は開館)、年末年始(12月26日〈木〉～2020年1月1日〈水・祝〉)
●8月13日(火)、10月15日(火)、2020年3月30日(月)は開館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般＝620(520)円 大学生＝410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 敬老の日(9月16日〈月・祝〉)は、総合文化展のみ観覧無料

最新情報は、
ウェブサイト、Facebook、Twitter、
Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効
年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚と、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等さまざまな特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効
年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚提供します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効
年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読
年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は9月10日(火)です。

○申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名: 東京国立博物館会員制度
口座番号: 00140-3-791791

●振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝日は除く)

FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニューズ 第756号 2019年8月1日発行(隔月1回 偶数月発行) 編集/東京国立博物館 広報室 ©東京国立博物館
発行/東京国立博物館 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 TEL:03-3822-1111(代表) *ウェブサイトを(URL)https://www.tnm.jp/ 独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト(URL)https://www.nich.go.jp サイト/D_CODE 制作/凸版印刷株式会社

1木	東 11:00 特別企画「奈良大和四寺のみほとけ」 親子のギャラリー「日本のよろい!」 特別展「三國志」
2金	夜間開館(21:00まで) 【よろい】「よろい着用体験」11:00~16:30 本館特別4室*1 法 15:00
3土	夜間開館(21:00まで) 【よろい】「よろい着用体験」11:00~16:30 本館特別4室*1 本 14:00
4日	トークキッズデー*2 【よろい】「よろい着用体験(子ども[18歳未満のみ])」11:00~16:30 本館特別4室*1 作 11:00、14:00 考 14:30
5月	休館日
6火	【よろい】G「日本のよろい!」14:00 本館特別2室
7水	
8木	
9金	夜間開館(21:00まで) G「アイヌの暮らし」18:30 本館16室 【よろい】「よろい着用体験」11:00~16:30 本館特別4室*1
10土	夜間開館(21:00まで) 【よろい】「よろい着用体験」11:00~16:30 本館特別4室*1 陶 14:30
11日	近 13:00 浮 14:00 彫 15:00
12月・祝	
13火	
14水	
15木	
16金	夜間開館(21:00まで) 【よろい】「よろい着用体験」11:00~16:30 本館特別4室*1
17土	夜間開館(21:00まで) 【よろい】「よろい着用体験」11:00~16:30 本館特別4室*1 本 14:00 法 15:00
18日	陶 11:00 英 14:00 考 14:30
19月	休館日
20火	G「縄文土器の大きさ」14:00 平成館考古展示室 【よろい】W「おどし体験!」10:00~12:30*3
21水	
22木	
23金	夜間開館(21:00まで) 【よろい】「よろい着用体験」11:00~16:30 本館特別4室*1
24土	夜間開館(21:00まで) 陶「文殊菩薩と春日若宮の美術」13:30 平成館大講堂 【よろい】「よろい着用体験」11:00~16:30 本館特別4室*1 陶 13:30
25日	彫 15:00
26月	休館日
27火	
28水	
29木	
30金	夜間開館(21:00まで) 【よろい】「よろい着用体験」11:00~16:30 本館特別4室*1
31土	夜間開館(21:00まで) 【よろい】「よろい着用体験」11:00~16:30 本館特別4室*1 東京国立博物館クラリネットコンサート 16:00、18:00*2

1日	作 13:30 考 14:30
2月	休館日
3火	G「信玄の弟・武田道運軒とその作品」14:00 本館地下みどりのライオン(教育普及スペース) 建 11:00
4水	
5木	東 11:00
6金	夜間開館(21:00まで) 法 15:00
7土	夜間開館(21:00まで) 【よろい】W「おどし体験!」10:00~12:30、14:30~17:00*3 樹 11:00 本 14:00
8日	近 13:00 浮 14:00 彫 15:00
9月	休館日
10火	🏠スペシャルツアー「工芸に表現された愛」博物館でアジアの旅 14:00 東洋館1階エントランス
11水	
12木	庭 11:00
13金	夜間開館(21:00まで)
14土	夜間開館(21:00まで) 陶 14:30
15日	🏠東 11:00 茶 11:00、13:00 英 14:00 考 14:30
16月・祝	総合文化展観覧無料
17火	休館日
18水	
19木	
20金	特別夜間開館(22:00まで) 🏠「ジャワの影絵芝居ワヤン・クリ」13:00、16:00 表慶館*4 🏠樹 11:00 博物館で野外シネマ 19:00 本館前*2
21土	特別夜間開館(22:00まで) 🏠「ジャワの影絵芝居ワヤン・クリ」13:00、16:00 表慶館*4 🏠本 14:00 法 15:00 博物館で野外シネマ 19:00 本館前*2
22日	彫 15:00
23月・祝	
24火	休館日
25水	
26木	🏠東 11:00
27金	夜間開館(21:00まで) 🏠「マットでリラックスヨガin表慶館」11:00、13:30、15:00 表慶館*4
28土	夜間開館(21:00まで) 🏠陶「アジア美術に見える愛の表現」13:30 平成館大講堂 陶 13:30
29日	🏠考 14:30
30月	休館日

【よろい】=親子のギャラリー「日本のよろい!」関連事業。詳細は前号5ページ

🏠=「博物館でアジアの旅」関連事業。詳細は本誌4-5ページ
*1=有料イベント。詳細は本誌12ページ *2=詳細は14ページ *3=申込みは締め切りました *4=事前申込制。詳細は本誌5ページ

- 📖=月例講演会等、詳細は本誌12ページ(特別展関連事業→2ページ)
- G=ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
- W=ワークショップ、詳細は本誌12ページ
- 👶=託児サービス実施日(12:30~15:30) 事前予約制 有料(8/4は10:00~13:00、14:00~17:00)
- 👉=ボランティアによるアートスタジオ 事前申込制(※8/4は当日受付) 詳細は前号13ページ
- 🏠=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 🌊=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 🏠=ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 🏠=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 🌳=ボランティアによる樹木ツアー(8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス
- 👤=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口、9/29は東洋館1階エントランス

- 🏠=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
- 🍵=ボランティアによる応挙館での茶会(8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、参加費500円、各回先着15名)
- 🏠=ボランティアによる庭園茶室ツアー(8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、先着18名)
- 🏠=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス
- 🏠=ボランティアによるたてもめの散歩ツアー(8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス
- 🏠=ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 🏠=ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 🏠=ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス(8月は「仏像の旅」、9月は9/5は「東洋館ハイライトツアー」9/15-9/26は「東洋館ハイライト アジアの旅特別バージョン」をご案内します)
- 🏠=藝大大学院インターンによるギャラリートーク(※8-9月は休止します) ※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。

(10/14まで)